5 後席操作★

★：車種、グレード、オプションなどにより、装着の有無が異なります。◎：ディーラーオプションです。

基本的な使いかた

後席ディスプレイの操作は、付属の後席リモコンで行います。

リモコン

各部の名称と機能

① **リモコン発光部**
後席ディスプレイの受光部に向けてスイッチを押します。

② 開・閉
後席ディスプレイを開閉します。

③ AUX
AUX（外部機器）画面に切り替えます。

④ DVD
DVDの操作画面に切り替えます。

⑤ **セレクトスイッチ**
設定画面の各項目を選択します。

⑥ TV
テレビ画面に切り替えます。

⑦ 12/1セグ 切替
押すごとに、地上デジタル放送→1セグ放送→AUTOに切り替わります。

⑧ 番組表
番組表を表示します。

⑨ ∧ VOL ∨
車内のスピーカーの音量を調節します。

⑩ ∧TRACK CH∨
テレビ画面のときは、短く押すとチャンネルを切り替えます。長く押すと放送局をサーチします。
DVD再生のときは、短く押すとチャプターを切り替えます。長く押すと早送り／早戻しをします。
USB画面のときは、短く押すと動画ファイルを切り替えます。長く押すと早送り／早戻しをします。

⑪ 設定
画面の明るさや色合いなどを変更します。

⑫ ∧ ∨
後席ディスプレイの角度を調整します。

⑬ USB
USBの操作画面に切り替えます。

⑭ 戻る
設定中の各画面で、一つ前の画面に戻ります。

⑮ 決定
各項目の設定を決定します。

⑯ d
データ放送の画面を表示します。

⑰ **カラーボタン** 青 赤 緑 黄
テレビ画面上で指示が出たときに使います。

⑱ A～F
テレビ画面のときは、登録されているテレビのチャンネルに切り替えます。
DVD/USB再生のときは、各スイッチに割り当てられた機能を実行します。

後席からのメニュー操作 ・・・p.5-10

⑲ 音声
DVDソフト、地上デジタル放送、USBの動画ファイルの音声言語を切り替えます。

⑳ メモリ
長押しすると、受信可能なテレビチャンネルを自動で登録します。

リモコン受光部

後席操作を行うときは、後席リモコンの発光部を後席ディスプレイ付近にある受光部に向けてスイッチを押して操作します。

電池の交換をする

後席リモコンの電源は、単３乾電池を２本使用します。

⚠ 注意

- 電池の＋、－の向きを間違えたり、新しい乾電池と消耗した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用したりすると、液漏れや破損により火災やけがの原因になることがあります。

アドバイス

- ダッシュボードの上など、直射日光の当たるところに後席リモコンを放置すると、変形や作動不良などの原因となりますので注意してください。
- 使用後はリモコンフォルダ（同梱品）に入れて邪魔にならない場所に格納してください。
- 長時間後席リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 乾電池は充電できません。
- 同梱されている乾電池は動作確認用として付属しているものであり、長期動作を保障するものではありません。

1 後席リモコンのふたを開けて、古い乾電池を取り出す

2 乾電池の＋、－の向きを確認して、正しくセットする。乾電池を入れたら、ふたを閉める

ヘッドフォン

後席ディスプレイの音声はヘッドフォンで聞くことができます。

ヘッドフォンを上手に使うために

- 音量を上げすぎないようにしてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- ヘッドフォンシステムを使用しているときに、赤外線通信機器や携帯電話を使用されますと大きな雑音が入ることがあります。このような時にはボリュームを下げるか、一時的にヘッドフォンの使用を中止してください。
- ヘッドフォンシステムは赤外線によって音声を通信しています。このため赤外線送出部（後席ディスプレイの近くにあります）から離れたり、近づいても赤外線の届く範囲から外れると雑音（サー音）が増えることがありますが、雑音が増える現象は赤外線の特性によるもので故障ではありません。
- 赤外線送出部とヘッドフォンの間に障害物が入りますと一時的にヘッドフォンからの音声が途切れたり雑音が入ることがあります。またヘッドフォンを手や髪で覆うと雑音が増えたり音声が途切れることがあります。この現象も赤外線の特性によるもので故障ではありませんので、ヘッドフォンを覆っているものを外して赤外線の送出部との間に障害物がない状態でお使いください。
  ※「障害物」とは光を通さないものです。
- 赤外線送出部の発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲や音質などの性能には影響はありません。
- ヘッドフォンを使用しないときはヘッドフォンの電源スイッチをOFFにしてください。赤外線の受信ができない状態（ディスプレイが閉じている状態）では約5分で自動的に電源が切れますが故障ではありません。
- ヘッドフォンを座席に放置しないでください。座ったときにヘッドフォンが破損し、破片で怪我をする恐れがあります。
- 使用後は同梱のヘッドフォン袋に入れて邪魔にならない場所に格納してください。

電池の交換をする

ヘッドフォンの電源は、単４乾電池を２本使用します。

注意

- 電池の＋、－の向きを間違えたり、新しい乾電池と消耗した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用したりすると、液漏れや破損により火災やけがの原因になることがあります。

アドバイス

- ダッシュボードの上など、直射日光の当たるところにヘッドフォンを放置すると、変形や作動不良などの原因となりますので注意してください。
- 長時間ヘッドフォンを使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。
- 乾電池は充電できません。
- 同梱されている乾電池は動作確認用として付属しているものであり、長期動作を保障するものではありません。

1 ヘッドフォンのふたを開けて、古い乾電池を取り出す

2 乾電池の＋、－の向きを確認して、正しくセットする。乾電池を入れたら、ふたを閉める

ヘッドフォンを使う

1 電源スイッチを押す

・電源スイッチは、ヘッドフォンの右側にあります。
・ヘッドフォンの電源ランプが点灯し、ヘッドフォンから音声が流れます。

2 音量を調整する

ヘッドフォンの右側に音量調整用のダイヤルがあります。ダイヤルを回して調整します。

知識

- 前席の VOL 、後席リモコンの VOL ではヘッドフォンの音量は調整できません。
- 後席リモコンで操作できるのはTV、DVD、USB、AUX（外部機器）だけになります。
- 前席でCD、FM（AM）などのオーディオ操作をしても、後席ディスプレイの表示とヘッドフォンの音声は切り替わりません。
- 前席でTV 、DVD 、USB、AUX（外部機器）の画面を表示している場合は、後席ディスプレイも前席と同じ画面しか表示できません。
- ナビゲーションの音声ガイドはヘッドフォンから流れません。

後席ディスプレイを操作する

前席のメニュー画面または後席リモコンで後席ディスプレイを操作することができます。

⚠ 注意

- 後席ディスプレイを閉じるとき、格納部に手を入れないでください。指を挟んでケガをしたり、無理な力が加わり故障の原因となります。
- 後席ディスプレイを開いたままにしておくと不用意に体などが接触し、思いがけないケガをしたり、大きな力が加わり故障の原因となります。

知識

- 後席ディスプレイが開いているときに電源ポジションをOFFにすると、後席ディスプレイは自動的に格納されます。

前席から後席ディスプレイの開閉をする

1

2 後席オーディオ

3 後席ディスプレイを開く

- ON が点灯し、後席ディスプレイが開きます。
- 後席ディスプレイを閉じるときは、再度 後席ディスプレイを開く を選んで ON を消灯させます。

後席リモコンで後席ディスプレイの開閉をする

1 開・閉 を押す

- 後席ディスプレイが閉じているときは、後席ディスプレイが開きます。
- 後席ディスプレイが開いているときは、後席ディスプレイが閉じます。

後席ディスプレイの角度を調整する

1 後席ディスプレイが開いているときに、∧ ∨ を押す

後席ディスプレイの角度が変化しますので、見やすい位置に調節してください。

後席からのメニュー操作

後席ディスプレイでは、地上デジタルテレビ、DVD、DVDやUSBに保存した映像データ、AUXを表示することができます。
後席からのメニュー操作は、後席リモコンで操作を行います。

テレビ画面での操作

テレビ画面を表示中に、後席リモコンを操作してさまざまな操作をすることができます。

画面メニューを操作する

 TV　 項目を選ぶ　

以下の項目を設定することができます。

番組表	番組表を表示します。
データ放送	データ放送画面を表示します。
番組内容	番組内容画面を表示します。
音声	日本語／英語／その他の対応言語に音声を切り替えます。
字幕	非表示／第一言語／第二言語から字幕を切り替えます。
主・副	主・副／主音声／副音声を切り替えます。
系列局サーチ	走行エリア付近の系列局を探します。
CH番号入力	チャンネル番号を入力することができます。
数字入力	データ放送画面を表示中に数字の入力をすることができます。

チャンネルを変更する

画面に表示された該当のチャンネルに切り替わります。

知識

- TV操作メニュー表示中、後席リモコンの TV を押すたびに、TV1画面とTV2画面が切り替わります。

チャンネルを登録する

■ 手動で登録する（マニュアルプリセット）

1. TV を押して「自宅エリア」または「おでかけエリア」を選ぶ
2. チャンネルを選ぶ
3. A ～ F を長押しする

「ピッ」と音が鳴り、チャンネルが登録されます。

■ 自動で登録する（オートプリセット）

❶ TV を押して「自宅エリア」または「おでかけエリア」を選ぶ

❷

を長押しする

「ピッ」という音が鳴ると、自動登録が開始します。自動登録が終了すると、操作画面が表示されます。

知識

- 自車位置周辺で受信可能な放送局を順に登録します。TV1・TV2に12局ずつ、最大24局まで自動的に登録されます。

映像画面での操作

DVDやUSBに保存した映像データには音声言語や字幕言語を切り替える機能や、字幕の有無を設定できる機能などがあります。

映像画面を再生中に後席リモコンを使って、それらの機能を操作することができます。

❶ DVD または

❷ 項目を選ぶ

・ 画面上部の項目は、後席リモコンのセレクトスイッチの左右を押して選び、決定 を押します。

以下の項目を設定することができます。

設定項目	設定内容
DVDメニュー	DVDソフト固有のメニューが表示されます。詳細については、各ソフトをご覧ください。
タイトルメニュー	ディスクに収められている各タイトルのメニューが表示されます。詳細については、各ソフトをご覧ください。
音声	DVDディスクに収録されている音声を切り替えることができます。
字幕	DVDディスクに収録されている字幕の言語を切り替えることができます。
サラウンド情報	サラウンド情報が表示されます。
アングル	カメラアングルが複数収録されているディスクの場合に別のカメラアングルに切り替えることができます。
タイトル選択	タイトルを選ぶことができます。
10キー入力	見たいグループ／トラック、タイトル／チャプターを指定して再生することができます。
Select No.	VIDEO-CD 2.0のメニュー（セレクション）を指定して再生することができます。

知識

● 表示される設定項目は、再生するメディアやデータによって異なります。

・ 画面下部の項目は、左上のアルファベットに対応した後席リモコンのA～Fを押します。

以下の項目を設定することができます。

操作項目	操作内容
一時停止／再生	停止中は再生を開始します。再生中は、一時停止します。もう一度押すと一時停止を解除します。
停止	停止します。
スキップ＋	チャプターやトラックを送ります。
スキップ-	チャプターやトラックを戻します。
CM+	押した回数ごとに前席で設定した間隔でジャンプします。
CM-	
フォルダ＋	ファイルやフォルダを送ります。
フォルダ-	ファイルやフォルダを戻します。

知識

● 表示される操作項目は、再生するメディアやデータによって異なります。

画面調整

❶ 設定 を押す

❷ 設定したい項目を選ぶ

❸ 調整する

画面モード	画面サイズをノーマル／ワイド／シネマ／フルに切り替えます。
ピクチャーモード	ノーマル／ダイナミック／シネマ／ゲームそれぞれのモードの明るさ／色合い／色の濃さ／コントラスト／黒レベルを調整します。
カラーシステム	AUTO/NTSC/PAL/PAL60/PALMに切り替えます。
3次元Y/C	ONにすると画面のにじみやチラつきを低減します。

知識

- 明るさをオートに設定すると、周囲の明るさに応じて画面の明るさが自動的に変化します。

液晶ディスプレイの取り扱いについて

⚠ 注意

- 液晶ディスプレイは絶対に分解しないでください。高い電圧の部分があり、感電する可能性があります。

特性について

- 車内の温度が低いとき、画面表示が暗くなったり、画像の動きが悪くなったりすることがありますが、故障ではありません。車内の温度が適温になれば、正常に作動するようになります。
- 画面の中に小さな黒点や輝点が現れる場合がありますが、これは液晶ディスプレイ特有の現象で、故障ではありません。
- 画面に表示内容が残ることがありますが、これは液晶ディスプレイ特有の現象（残像現象）で、故障ではありません。

お手入れについて

- 固い布や、アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤や化学ぞうきんは使用しないでください。ディスプレイやパネルに傷が付いたり、変質したりします。
- 水や芳香剤などの液体をかけないでください。本体内部に液体が入り込むと、故障の原因となります。
- 清掃するときは、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を少し含ませて（水滴が付かない程度）ふいてください。